

平成30年

豪雪に対する緊急要望



平成30年2月15日

新潟県

新潟県市長会

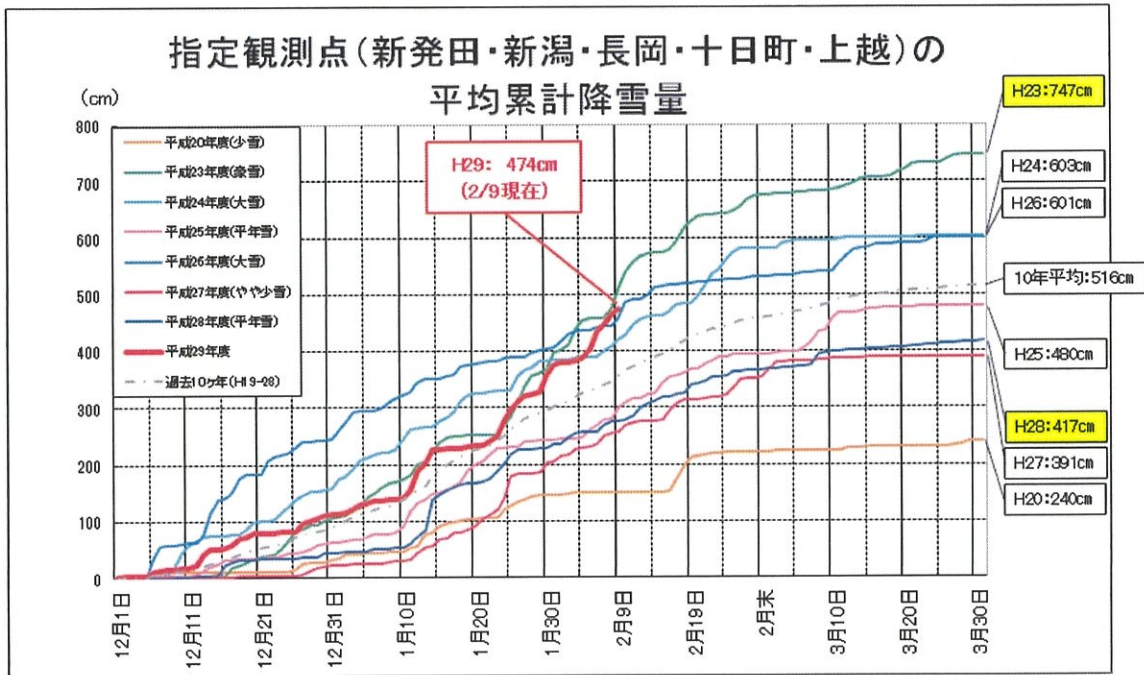
新潟県町村会

今冬の豪雪に対する財政支援について

当県は、広大な県土を有し、かつ、その全域が豪雪地帯に指定されており、除排雪対策のために多額の経費を要しております。

今冬は、12月上旬から度重なる寒波の襲来により、今年の1月11日から12日にかけては記録的な降雪に見舞われ、道路の渋滞や公共交通網の遅延・運休が長期化する等、地域の生活や社会・経済活動に多大な影響を与える事態が発生しております。

その後も降雪や異常低温が続き、現時点では平成23年度の豪雪と同等の累計降雪量となっているほか、水道管の破裂による大規模な断水等も発生しております。



○ 国庫補助制度による道路除排雪経費への財政支援

道路除排雪については、除雪費補助や交付金等による支援があるものの、今冬の豪雪に加えて近年の労務単価や諸経费率の上昇から、地方自治体の道路除雪費の負担は年々増加傾向にあり、特に豪雪に見舞われた際には、除排雪作業等に伴う道路施設等の維持修繕費も嵩むため、負担が一層増大しており、厳しい財政運営の中、補正予算の編成を迫られています。

つきましては、今冬において、本県の道路除排雪が安心して万全に実施できるよう、除雪費補助の全額配分と併せて、予備費等を最大限活用した特段の財政支援をお願いいたします。

また、市町村の道路除排雪経費について、市町村道除雪費補助の臨時特例措置等により格段の財政支援をお願いいたします。

○ 特別交付税による道路除排雪経費等に対する財政支援

県及び県内各市町村においては、住民の日常生活の維持や地域経済活動の継続等のため、道路・公共施設の除排雪や高齢者世帯の雪下ろし支援、断水に伴う住民への給水等の対策に全力で取り組んでおります。

今冬は、中山間地域はもとより、平野部においても過去10年の最大累計降雪量を超える記録的な降雪に見舞われており、1月末の時点で県の道路除排雪経費が過去10年で最大の85億円と平年を30億円近く上回り、その後も例年を超えるペースで降雪が続くなど、県及び県内各市町村は、例年以上に多額の費用を要することから、緊急に補正予算の編成を行うなど、特別な財政需要が発生しているところです。

つきましては、道路除排雪経費等に対する特別交付税の配分について、特段の配慮をお願いいたします。

(国土交通省国土政策局)

(国土交通省道路局)

(財務省主計局)

(総務省自治財政局)



大規模断水 県外の給水応援車（佐渡市）



スタック車両（佐渡市）



道路排雪（見附市）



倒壊家屋（三条市）



雪の重みによるアーケード倒壊（長岡市）



渋滞状況（長岡市）



中央分離帯の横断歩道（長岡市）



雪壁の中の歩行者（長岡市）



すれ違い困難（長岡市）



すれ違い困難（長岡市）



スクールバス停留所（阿賀町）



雪崩（十日町市）

